

共同研究 「学園ミュージアムを考える」

活動報告

代表 上田 富士子・中村 博幸

2993年7月、11人のメンバーで発足した共同プロジェクト「学園ミュージアムを考える」も早いもので今年、最後の研究年度を迎えることになった。本プロジェクトでは従来の大学博物館についての考え方を一歩進め、京都文教学園100年の歴史の記憶と文化資産を集積する場所として、また、京都文教大学人間学部3学科つまり臨床心理学科・文化人類学科・現代社会学科の教員や学生たちの研究展示の場として、新しい学園ミュージアムの可能性について模索し、研究してきた。ここに、2005年度の活動状況について報告する。なお、第10回の「次代に繋ぐ百年の蓄積 学園資料館に望むこと～」、および、第11回の公開シンポジウムについては、『人間学研究』第6号（本号）に掲載されている。

第9回研究会

テーマ：「東アフリカ諸国における博物館の現状」

報告者：上田富士子（文化人類学科・教授）

日時：2005年10月19日（木）18：30～20：30

場所：普照館 232 共同研究室

第10回研究会

テーマ：「次代に繋ぐ百年の蓄積～学園資料館に望むこと～」

報告者：永野貴子（文化人類学科・助教授）

日時：2005年10月27日（木）18：30～20：30

場所：普照館 232 共同研究室

第11回研究会

公開シンポジウム：「学園ミュージアムを考えるー設立・運営コーディネーターを囲んでー」

第1部

講演：「手づくりで大学博物館をつくるー鹿児島国際大学の事例からー」

講師：中園 聡（鹿児島国際大学 国際文化学部教授）

第2部

共同討論：「本学の学園ミュージアム構想」
宇治谷恵、坂本博司、杉本星子、永野貴子、中村博幸

司会：第1部 中村博幸、第2部 上田富士子
日時：2006年2月3日（金）

第1部 17：30～18：40

第2部 18：50～19：50

場所：普照館 232 共同研究室

今年度は本研究プロジェクト最後の年でもあり、第11回研究会はその総仕上げとして鹿児島国際大学教授中園聡氏を講師に招いて、公開シンポジウムを行い、本学の学園ミュージアム構想について討論を行った。